

姉なのか母なのか問ひ浴衣連れ

霧湧きて相思鳥語る如く鳴き

てらてらと日差を歪め穴まどひ

勝利

穂芒や気流に任せ飛ぶ鴉

真理子

雲迅し来る颱風は明日未明

鳴き止めば躓く心地鉦叩

お団子の出るかも知れぬ月を待つ

老眼鏡借り糸通す鰯雲

キャンパスに元寇跡地草の花

節子

三食を作る暮しや草の花

由紀子

山小屋の夜や四方より轡虫

亀石の首向く先の葉月潮

元寇の防塁今に草の花

住み馴れし町を眼下に野路の秋

光子

【お休み】

佳与子

十五夜の真夜にやうやう雲間より